

人権学習展開例

主 題 名 人間の尊厳

教 材 名 夢を跳ぶ ―パラリンピック・アスリートの挑戦―

人権学習の視点 普遍的な視点「生命や人間の尊厳」

主題・教材について

人生において、人はだれしも苦難に遭遇する。しかし、どのような苦難に見舞われようとも、命があるかぎり、新しい日が訪れるのである。それは年齢に関係なく、だれにでも平等に与えられた時間である。

この教材では、苦難に見舞われながら、人との出会いの中で生きる希望を取り戻し、新たな挑戦を続ける佐藤真海さんの心の葛藤を見つめることで、自他の命の大切さや一人一人がかけがえのない存在であることを理解させたい。

ね ら い

生命の大切さについて理解を深め、一人一人がかけがえのない人間であるという認識を培うとともに、人との出会いを大切にしながら生きようとする態度を養う。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○本時の学習課題を知らせる。	一斉	○本時の学習課題を知る。		
展 開	「夢を跳ぶ」を読み、考えたことを話し合ってみよう。				
	○「夢を跳ぶ」を読み、筆者の生き方について考えたことを交流させる。	一斉 個別 一斉	○「夢を跳ぶ」を読む。 ○文章を読んで感じたこと、考えたことを書く。 ○感想を発表し、話し合う。	○筆者の置かれた状況(境遇)や心情をよく考えながら読ませる。 ○印象的な内容や筆者の心情について感じたこと、考えたことを書かせる。 ○筆者のプロフィールを紹介する。 ○現在では、化学療法の発達により、骨肉腫は治癒率が大きく改善されていることを確認する。	生徒資料 [毎日新しい] ワークシート 項目1 ワークシート 項目2
展 開	筆者が闘病生活の中で学んだことは何か考えてみよう。				
	○筆者の心情の変化を考えさせ発表させる。 ○筆者が、闘病生活の中で学んだことは何か考え、発表させる。	一斉 個別 一斉	○筆者の心情の変化を考え、発表する。 ○筆者が、闘病生活の中で学んだことは何か考え、発表する。	○「自分ひとりの命じゃない」、「命の大切さ」、「生きることの尊さ」、「目標や目的、夢をもって生きることの大切さ」などをおさえる。 ○困難を乗り越えるためには、自分自身の力だけではなく、人との出会いが大切であること、一人一人がかけがえのない存在であることをおさえる。	ワークシート 項目3
まとめ	○人生を肯定的に捉え、毎日を有意義に送ることの大切さを確認する。	一斉	○人生を肯定的に捉え、毎日を有意義に送ることの大切さを知る。	○年齢や境遇に関係なく、それぞれに新しい毎日が訪れること、その中で自分の人生を肯定的に捉え、まわりの人とかかわりながら生きることの大切さを再認識させる。	

評 価

生命の大切さについて理解を深め、一人一人がかけがえのない人間であるという認識を培うとともに、人との出会いを大切にしながら生きようとする態度を養うことができたか。